



令和4年度「リアルタイム地震被害推定情報」 実証実験参加企業募集について（ご案内）

国立研究開発法人 防災科学技術研究所で研究・開発した「リアルタイム地震被害推定情報（RT情報）」の社会実装を目指して実証実験を行います。（昨年度は、国内の大手民間企業14分野・39機関にご参加頂きました。）

令和4年度も実証実験を継続し、情報の有用性を検証する為、**無料にて提供**致します。この機会に多くの企業にご参加頂き、新しい防災情報をお試し下さい!!

リアルタイム地震被害推定情報（RT情報）とは

特徴	1	防災科研が独自に開発した地震被害に関する推定情報		
	2	地震被害に関する4つの推定情報を発信	情報1	推定震度情報（最大速度、最大加速度、速度、SI値等）
			情報2	建物被害推定情報（全壊棟数・半壊棟数等）
			情報3	人的被害情報（死者数、重傷者数）
情報4			曝露人口（エリア別、震度別）	
3	地震発生後、15分程度で取得可能			
対象エリア	日本全国	観測記録を基に250mメッシュ毎に提供		
情報取得方法（選択）	1	Pull方式	専用サイトにアクセスして取得 ※参加時にアクセス用固定IPアドレスが必須	CSVファイル、netCDFファイル等で提供 全国市町村別に取得可能 簡易表示も可能
	2	Push方式	スマートフォンを含むご指定のメールアドレスに送信	配信したURLで画像でも確認 参加時に拠点の情報（拠点名・住所）およびID/PWを登録
実験期間	令和4年4月～令和5年3月22日			
参加費用	無料	Pull方式では、参加企業様で固定IPアドレスの準備をお願いします。		
利用目的	地震発生時の被害状況早期把握・初動対応・BCP策定・訓練等での活用			
RT情報・実証実験の概要	地震被害推定情報 実証実験 検索 			又は 

情報提供機関

生きる、を支える科学技術



防災科研

国立研究開発法人
防災科学技術研究所

実証実験 事務局



特定非営利活動法人

リアルタイム地震・防災情報利用協議会

【お問合せ先】

メール：reic_jimukyoku@reic.or.jp

電話：03-5829-6368

「リアルタイム地震被害推定情報」の利活用

地震発生

被害状況把握

初動対応

防災力向上

- RT情報は、地震発生後15分程度で作成
- 作成した情報をPull方式又はPush方式で配信
- RT情報によりご登録地点の被害推定状況を把握
- 対策本部立上げ、緊急支援の優先順位を決定
- 復旧・復興支援要員・物資等を早期派遣
- 企業資産の経済的損失の軽減
- BCP策定/見直し、防災訓練・教育

レジリエンス（回復力）強化！

活用事例

医療

拠点病院



医師・看護師の参集・派遣・緊急初動対応

鉄道

沿線駅施設



沿線被害の早期確認
緊急保線職員参集

電力・ガス・水道

プラント施設



施設の復旧対応
職員の緊急招集

情報通信

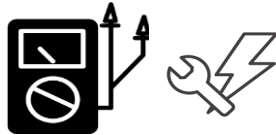
基地局、架線



基地局の復旧対応
保守員の緊急参集・派遣・初動対応

専門・技術サービス

調査業務



設備の復旧対応
技術者の緊急参集・派遣・初動対応

不動産

ビル、集合住宅、戸建



建物被害の早期収集・復旧対応
作業員の緊急参集・派遣・初動対応

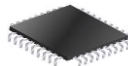
製造業

工場施設・サプライヤー



自動車工場

半導体工場



緊急支援対応
建物被害・従業員の安否確認

金融・保険

企業資産・人的資産



速やかな被害算定
迅速な保険金支払

サービス業

物流施設・販売店



物流施設の被害状況把握と支援
ルートの確保